

て、都市国保協議会を中心に国保財政の赤字問題解決のため、前期高齢者交付金の格差是正の財政支援措置を引き続き国へ要請します。

後期高齢者医療については、被保険者の健康の保持増進を図るため、長寿健診の受診勧奨と人間ドック・脳ドック健診費用の一部助成を実施します。

地域福祉については、「第3次うるま市地域福祉計画」に基づき、市民が必要な支援が受けられ、互いに助け合える地域社会を目指すため、関係団体と連携し「みんなで支えあう健やかなまちづくり」を推進します。

障がい者福祉については、計画の最終年度となっている「第2次うるま市障がい者福祉計画」・「第4期うるま市障害福祉計画」を継続して推進し、次期障がい者福祉計画等の策定に取り組み、共生社会の実現のため、総合的な相談支援体制や就労支援等、障がい者福祉施策の充実等に取り組みます。

生活保護については、適正実施に努めるとともに、要保護者の自立に向けた支援を推進します。

また、「生活困窮者自立支援法」に基づく自立相談支援事業や住居確保給付金事業、学習支援事業などを引き続き実施し、生活保護に至る前の自立支援に加え、近年、全国的な課題となつて

いる貧困の連鎖防止に努めます。

環境については、「うるま市環境基本計画」などの推進ならびに「第2次うるま市一般廃棄物処理基本計画」の策定に取り組みます。

ごみ対策については、減量化や再利用・再資源化を推進し、監視カメラの設置による不法投棄対策を強化します。また、津堅島においては、島おこし事業を通して環境に関する意識が向上したことから、漂着ごみや家庭ごみなどを島内処理で解決するため、小型焼却炉の整備を推進します。

さらに公害、野犬・ハブ等の対策のほか、**墓地行政**については、まちづくりとの整合性に留意した墓地立地の規制と誘導に取り組みます。

②「子どもがいきいきと育つまちづくり」

今年度の新たな重点施策として、子育て世代の経済的負担を軽減するため「こども医療費助成事業」における通院対象年齢を、これまでの小学校就学前から、中学校卒業までに拡充します。

さらに医療費の自動償還払いについて、8月から「母子及び父子家庭等医療費助成事業」にも導入し、利便性の向上を図ります。

母子保健については、健やかな子どもの成長発達のため、規則正しい生活リズムを推進するとともに、麻しん・風しんの重篤化を防ぐことを目的とし

た、予防接種の未接種者を対象とする助成事業を今年度から開始します。

子育て支援については、共働き家庭等の児童に対し、放課後に適切な遊びと生活の場を提供する放課後学童クラブの小学校内での実施に取り組みます。

保育については、分園や小規模保育事業の促進を図るための家賃補助事業や、保育士確保に向けた保育士再就職支援準備金事業等を実施するとともに待機児童ゼロを目指して、施設整備を行い、約500人の定員増をめざします。

認可外保育所については、入所児童の処遇向上を図るための内科検診費や教材費等の助成を継続するとともに、保護者の負担を軽減する「ひとり親世帯及び待機児童世帯に対する保育料助成事業」を継続して実施します。

③「まちの活力を生み出す産業づくり」

農業農村整備については、安定的な農業生産環境の確保と生産性の向上を図るため、団体営ため池等整備事業（東山地区）や農業基盤整備促進事業（うるま第3地区、与那城上原）などに取り組みます。

水産業振興については、新たに「うるま市水産業振興計画」を策定すると

ともに、漁業経営の安定化と効率化を図るため、浜漁港および比嘉漁港の整備に引き続き取り組みます。

農業振興については、農業振興ビジョンに沿って、安定的な農業経営を支援する各種施策や、耕作放棄地解消に向けた取り組み等を総合的かつ計画的に展開します。

畜産業振興については、新たに優良山羊生産拡大事業に加え、肉用牛生産拡大強化事業やその他の施策を実施し、安定的な畜産経営を支援します。

農水産業振興戦略拠点施設整備事業については、平成30年春の供用開始に向けて農水産物直売所棟及び産直レストラン棟を整備します。



【農水産業振興戦略拠点施設の完成予想図】